

間伐材チップの紙製品への利用促進のポイント（案）

1 総論

- ・ 間伐を進める上で間伐材の紙製品への利用が必要
- ・ まずは未利用の間伐材の利用を推進する
（次いでその他残材、認証材、里山の広葉樹等）

2 間伐、間伐材について

- ・ 間伐、間伐材とは何か、具体的なイメージを作成する
- ・ 間伐材利用の意義、効果を具体化する（LCAも含め）

3 間伐材利用の進め方について

- ・ クレジット方式が可能か検討する（まずは古紙パルプ+間伐材パルプ100%）
- ・ グリーン購入法に位置づける
- ・ 紙製品への間伐材利用率の目標を設定する
- ・ モデル的取組による具体化を推進する

4 間伐材の供給体制について

- ・ 間伐材認証の仕組みづくりを進める（COC、検証）
- ・ まずは土場残材を活用する（A材、B材利用との組合せ）
- ・ 大口安定供給とC材価格提示の土俵づくりを進める（価格のオープン化）
- ・ 素材生産のコストダウンを図る（路網整備、機械化、間伐の意識改革）

5 技術的問題について

- ・ 間伐材利用の拡大のための技術開発を進める
（パルプ化、漂白などパルプ製造、紙・板紙への利用拡大）

6 消費者への普及について

- ・ スペックダウン製品を受け入れる消費者意識を醸成する
（色の濃い紙、滑らかさの低い紙等）
- ・ マークの使用、間伐・間伐材の意義・効果を宣伝する
- ・ 官庁、企業が率先して間伐材紙を使用する